

News Release

平成 30 年 4 月 25 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

苫小牧港開発（株）に対し、 「DBJ BCM 格付」および「地域元気プログラム」 に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、苫小牧港開発株式会社（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長：石森亮、以下「当社」という。）に対し、「DBJ BCM 格付」および「地域元気プログラム」に基づく融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

また、「地域元気プログラム」は、地域ごとの強みや潜在力を活かした成長を後押しする DBJ 独自の取り組みです。北海道支店では、「北海道の持続的成長を支える環境・インフラの構築」をテーマのひとつとして、北海道の企業に対して情報面・資金面でのサポートに取り組んでいます。

当社は、北海道の基幹港湾である苫小牧港において、フェリーターミナル運営事業および国際コンテナターミナル関連事業、不動産事業等を営む事業者です。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1). フェリーターミナルにて船社と合同で防災訓練を実施し、各社の有事の際の対応方針を共有している他、従業員のみならず利用者にも配慮した安全確保策を有している点
- (2). 全従業員を対象とした被災地研修を通して、平時、有事における防災への備えの重要性について意識の浸透を図っている点
- (3). 当社が苫小牧港港湾 BCP の関係者を巻き込む形で、ワークショップ型の演習を主催し、社内外の防災・事業継続に対する意識啓発を実施している点

その結果、当社は「防災及び事業継続への取り組みが優れている」という格付を取得しました。

また、本件融資は、老朽化した現本社ビルの隣接地に新社屋を建設し、あわせて有事の際の近隣避難者の受け入れ施設としても提供し得る機能充実を

News Release

図るものであることから、地域の防災インフラの拡充に寄与する取り組みとして、「地域元気プログラム」の対象と認定しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

北海道支店 業務第二課 電話番号 011-241-4113